

## 第2回 ロジスティクス環境会議(本会議) 議事録

. 日 時：2004年4月8日(木) 14:00～16:20

. 場 所：東京・千代田区 ホテルニューオータニ 地下1階 おり鶴 麗の間

. 出席者：125名

. 議 案：

### 1) 各委員会の活動計画について

- (1) 企画運営委員会
- (2) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会
- (3) 源流管理による環境改善委員会
- (4) 省資源ロジスティクス推進委員会
- (5) リバースロジスティクス調査委員会
- (6) 共通基盤整備委員会

### 2) その他

. 開 会

稲束専務理事より開会が行なわれた。

. 張議長、岡部副議長より、開会の挨拶が行なわれた。

. 経過報告と決算(案)・予算(案) 【資料1、資料2-1、2-2、資料3-1、3-2】

徳田事務局長より、資料に基づき、第1回本会議以降の活動の経過報告と2003年度収支決算案および2004年収支予算案について説明が行なわれた後、全会一致にて承認がなされた。

. 議事の経過

張議長の司会のもと、以下のとおり議事が進められた。

## 1. 議 事

### 1) 各委員会の今後の活動概要について

以下のとおり、各委員会の委員長より、今後の活動計画案について説明がなされた。

- (1) 企画運営委員会・・・・・・・・・・杉山委員長(代理：小西副委員長)
- (2) 環境パフォーマンス評価手法検討委員会・・・増井委員長(代理：小林副委員長)
- (3) 源流管理による環境改善委員会・・・・・・・・小西委員長
- (4) 省資源ロジスティクス推進委員会・・・・・・・・山本委員長
- (5) リバースロジスティクス調査委員会・・・・・・菅田委員長
- (6) 共通基盤整備委員会・・・・・・・・・・津久井委員長(代理：下村副委員長)

各委員会の説明の後、以下のような質疑がなされた。

- (1) 環境パフォーマンスの評価指標に、CO<sub>2</sub>以外も順次取り組んで行って欲しい。また、環境会議として、数値目標も検討すべきではないか。是非、参加各社に協力いただきたい。  
まず関心の高いCO<sub>2</sub>から取組み順次対象を広げたい。数値目標については、環境パフォーマンス評価指標検討委員会における検討したいが、企画運営委員会において検討課題であり、環境会議としての基本的な方針を検討するべきであるとする。
- (2) リバースロジスティクスの推進課題および疎外要因と感ずるのは何か。  
推進課題としては、リユースやリサイクルに関する情報の整備が課題としてあげられる。また、法規制が阻害要因となっているケースが多く、関係各省と連携を図っていきたい。

以上のような質疑応答の後、張議長は議事を終了した。

## 2. オブザーバー関係各省の施策について

岡部副議長の司会進行のもと、オブザーバー各省より、各省の施策について、説明がなされた。

- 1) 経済産業省 杉谷氏  
商務情報政策局 流通・物流政策室長
- 2) 国土交通省 松本氏  
政策統括官付企画官
- 3) 環境省 沢味氏  
総合環境政策局 環境経済課 課長補佐
- 4) 農林水産省 瀬戸氏  
総合食料局 流通課  
総合食料局 流通課 商業調整官

## . 閉 会

以上をもって全ての内容を終了し、岡部副議長は閉会を宣した。

以 上